

# 令和4年度 ちゅーりっぷハウス自己評価まとめ

令和5年3月23日

ちゅーりっぷハウスでは、今年度の重点目標としてかかげた以下5つの目標に対して、全スタッフで振り返りをしました。来年度に向け、今年度の反省点を改善しながら保育の質向上に努めていきたいと思っております。

## 重点目標1、子どもの姿を良く見て、ありのままの姿を受け止め一人ひとりに適した対応ができるようにする

### 具体的な取り組み

- ・子どもに対しての言葉がけや対応について全職員が同じ思いで対応できるよう、保育会議で話し合い共有することができた。
- ・子どもの思いより、保育者の思いの方が強くなり「ここまでできるようになって欲しい」と思って対応してしまうことがあった。

### 改善点

- ・この年齢だからできる、できないではなく子ども一人ひとりのやろうとする気持ちや意識を大切に認めていく。
- ・子どもの思いを感じとり、受け止めながら信頼関係を築けるようにする。

## 重点目標2、「楽しい」「やってみたい」と心から思える保育内容を考える

### 具体的な取り組み

- ・子どもの姿を見たり、言葉を聞いたりするなかで興味や関心があることに対して遊びが発展できるようにした。
- ・「やりたい」と思う気持ちに添えることで、自分の思いを分かってくれたという満足感につながるすることができた。

### 改善点

- ・保育者もアイデアを足していくことも必要なので、もっと多方面から考えていく。
- ・子どもが主体となり、一人ひとりの興味や関心を更に引き出していく。

## 重点目標3、保護者の思いに寄り添い、共感しながら子育てが楽しくなるよう一緒に考え支援する

### 具体的な取り組み

- ・保育室内に写真を掲示したり、保護者限定のYouTube動画を作成したりして保護者の方と一緒に園で過ごすありのままの子ども姿を見ながら保護者と一緒に成長を喜ぶことができた。
- ・登降園時に、保護者の方からの言葉に丁寧に対応し共感するなかでほんの少しの悩みでも解決し気持ちが安らげるように対応した。

### 改善点

- ・保護者の話を丁寧に聞くことはできたが、全職員が専門知識を生かしてアドバイスできなかったので専門職としての力を発揮していく。
- ・保護者限定のYouTube配信は好評だったが、配信頻度が少なかったので子ども同士が関わる姿をこまめに配信できるようにする。

## 重点目標4、お腹がすくリズムをつくり、食べたい意欲を引き出す

### 具体的な取り組み

- ・戸外に出る時間を多くつくり、公園では保育者も一緒に体を動かし思い切り遊ぶことができた。
- ・調理員と触れ合う時間が増え、「今日のご飯は何？」と聞いたり「作ってくれて、ありがとう。美味しかった」と子どもたちからの声が聞こえたりして食が身近に感じられるようになった。
- ・玄関先のプランターでピーマンや小松菜を栽培したり、室内ではもやしを触れた際に発した子どもの言葉からもやしを栽培したりした。

### 改善点

- ・保育園だけではなく、家庭での生活も含めての生活リズムなので家庭とも連携していく。
- ・1、2歳児との成長の差が大きく、日中の活動内容が2歳児には物足りなかったため活動内容を見直す。
- ・食材に触れる機会を増やしたり、調理員が子どもの目の前で調理したり食に対する関心を高められるようにする。

## 重点目標5、ヒヤリハットを通して、危機管理意識の向上を目指す

### 具体的な取り組み

- ・ヒヤリハットの大小に関わらず記入する習慣をつけることで、日々の保育に対して注意する点が増えた。
- ・その場にはなかった職員も定例会や引継ぎノートでヒヤリハット事例を振り返ることで、危機管理について考え注意しながら保育を進められた。

### 改善点

- ・ヒヤリハットが起きやすい時間や箇所を分析し、事故につながる前に防止できるよう意識を高めていく。
- ・スキルアップアドバイザーからの言葉に気付かされるが多かった。自分たちから気づきが生まれるよう目の前のことだけではなく視野を広げて見ていく。

## 令和5年度重点目標

- 1、子どもが心から楽しいと思い、笑顔あふれる保育を第一に考える
- 2、専門知識を生かしながら、子育てに対する悩みに対応し子どもの成長を保護者と共に喜ぶ
- 3、職員、保護者、近隣の方など人とのつながりを深めながら社会性を育む
- 4、飼育や食物の栽培を通し、毎日お世話をすることで成長する過程を知り命の大切さを学ぶ
- 5、あらゆる危機に対して的確かつ迅速に予防、対応できる力をつけられるよう訓練や研修を受け意識を高める